

「シベリア出兵と寺内正毅内閣」関係年表

37	1904	2. 10	ロシアに宣戦布告。日露戦争始まる	7	1918	7. 12	上原勇作参謀総長、「派兵の手段、方法は用兵上の見地から」と政府に意見書
38	1905	9. 5	日露講和条約調印。日露戦争終わる			7. 16	ニコライ二世一家処刑される
43	1910	8. 22	韓国併合。初代朝鮮総督に寺内正毅			7. 17	日本、米に「兵力1万2千」で同意回答
7	1914	4. 16	第2次大隈重信内閣。外相に加藤高明			7. 23	魚津町(新潟)の主婦、県外への米の船積み阻止に集まる(米騒動の始まり)
		7. 28	第1次世界大戦始まる			7. 31	米価大暴騰、東京米穀取引所立会停止
4	1915	8. 23	日本、ドイツに宣戦布告			8. 2	日本政府、シベリア出兵を宣言◆英仏陸戦隊、アルハンゲリスクに上陸
		1. 18	日本、中国に「21カ条要求」を提示			8. 3	米国政府、シベリア出兵宣言◆英軍ウラジオ上陸◆西水橋町(新潟)、米を求め騒然
		3. 25	総選挙。与党立憲同志会が大勝			8. 4	浦潮派遣軍編成(輜館大谷喜久蔵大将)
5	1916	5. 9	中国、日本の要求受諾。「国恥記念日」に			8. 5	「越中女一揆」の報道、全国を駆け巡る
		10. 9	寺内正毅内閣成立。外相に本野一郎			8. 9	仏軍第一陣ウラジオに上陸
		10. 10	「憲政会」結成(200議)。総裁に加藤高明			8. 11	大阪で米騒動。全国へ広がり、軍隊出動
		10. 12	全国記者大会「閥族官僚政治排斥」決議			8. 12	日本軍第一陣、ウラジオ上陸
6	1917	1. 31	独、「無制限潜水艦作戦」を米に通告			8. 14	政府、米騒動の一切の記事掲載を禁止
		2. 3	米国、ドイツと国交断絶			8. 16	米先遣隊、フィリピンからウラジオへ
		3. 8	ペテルブルクで「パン寄越せ」デモ			8. 25	大阪朝日、「白虹事件」で発売禁止
		3. 15	リベラル派、臨時政府樹立			9. 6	日本軍、チタを占領
		3. 17	ニコライ二世退位。「二月革命」成る			9. 9	日本陸戦隊、ニコラエフスク上陸
		3. 22	米国、臨時政府を承認。経済援助申し出			9. 21	寺内内閣総辞職
		4. 6	米国、ドイツに宣戦布告			9. 29	原敬内閣成立。陸相田中、外相内田康哉
		5. 1	臨時政府、戦争継続を声明			10. 14	大阪朝日・村山竜平社長辞任(翌日には鳥居素川編集局長ら幹部が一斉退社)◆英軍、イルクーツクに入る
		6. 6	臨時外交調査会設置。総裁に寺内首相、委員に原敬、犬養毅ら。加藤は参加拒否			10. 15	閣議、英国要請の「バイカル湖以西への日本軍派遣」を拒否
		11. 7	ボルシェビキが武装蜂起。「ソビエト政府」樹立を宣言。「十月革命」			10. 17	田中陸相、原首相に13,800の減兵提案
		11. 8	レーニン、「無併合・無賠償講和」を提唱			11. 11	ドイツ降伏。第1次世界大戦終わる
		11. 26	ソビエト政府、ドイツに休戦申し入れ			11. 18	オムスクにコルチャーク政権(叛乱)
		11. 27	連合国、パリで最高戦争会議開く			12. 26	米国に「残留兵力は約2万6千」と通報
		12. 2	仏、日米両軍のシベリア鉄道占領提案			1. 18	パリで対独講和会議始まる
		12. 15	ソ政府、独奥側との休戦協定調印			4. 22	コルチャーク軍敗れ、敗走始まる
7	1918	1. 1	英国、ウラジオの集積軍需物資確保のため、日本に軍艦共同派遣を求める			5. 16	閣議、オムスク政府承認の方針決定
		1. 2	セミョーノフ、反革命政権旗揚げ			5. 20	日本、オムスク政府承認を各国に提議
		1. 12	軍艦石見ウラジオ入港(18日 軍艦朝日)			5. 26	五大国会議、オムスク政府に8項目提案
		1. 14	英巡洋艦サフォーク、ウラジオ入港			6. 8	オムスク政府、提案を全面受け入れ
		1. 末	参謀本部中島正武少将、シベリアへ			6. 28	ベルサイユ講和条約調印
		2. 5	本野外相、米大使を招き出兵打診			7. 18	オムスク政府、日本に2個師団派遣要請
		2. 28	田中義一(総裁)、軍事協同委員会組織			8. 2	日本政府、オムスク政府に拒否の回答
		3. 3	ソ政府、独奥との講和条約に調印			10. 11	オムスク政府、イルクーツクに退却
		3. 9	外交調査会、「対米重視・出兵せず」確認			11. 3	寺内正毅死去。67歳
		3. 11	ソビエトの首都、モスクワに移る			12. 27	閣議、イルクーツクに半個師団派遣
		3. 17	与謝野晶子、新聞に「何故の出兵か」			1. 1	本庄支隊、イルクーツクへ。中立厳守
		3. 26	ソ政府、露国内チェコ軍団の東進許可			1. 5	オムスク政府崩壊
		4. 1	チェコ軍、キエフ出発、ウラジオへ			1. 8	米軍、日本に全面撤退通告
		4. 4	ウラジオで日本人商店襲われ、2人死傷			1. 15	コルチャーク、過激派に引き渡される
		4. 5	日英陸戦隊、ウラジオに上陸開始			2. 7	コルチャーク処刑される
		4. 15	チェコ軍第一陣、ウラジオ到着			3. 11	ニコラエフスクで過激派攻撃始まる
		4. 23	本野外相辞任。外相に後藤新平			4. 1	米軍、ウラジオから撤兵完了
		4. 24	山県有朋、寺内首相に自重促す意見書			5. 25	ニコラエフスクで日本人122人虐殺
		5. 2	過激派、ウラジオの全権掌握			8. 31	日本軍、ハルビン以西から全面撤収
		5. 14	「チェリアピンスク事件」発生			9. 2	チェコ軍、全員の引き揚げ完了
		5. 25	チェコ軍、各地で過激派と武力衝突			11. 4	原敬首相、東京駅で暗殺される。65歳
		6. 21	連合国最高会議、日本に救援出兵要請			10. 25	日本軍、シベリアからの撤兵完了
		6. 29	チェコ軍、ウラジオ全市を制圧				
		7. 3	連合国最高会議、米国に出兵要請				
		7. 6	大阪で米価暴騰。米穀取引所立会中止	10	1921		
		7. 8	米国政府、日本に「日米共同出兵」提案	11	1922		